

富士中だより

八丈町立三根学園富士中学校 令和3年7月20日 第4号

ホームページ <http://www.hachi-jomachi-tky.ed.jp/fuji-jhs/>

◇ 学校教育目標 ◇
自ら進んで学ぶ生徒
人や自然を愛する生徒
健康でねばり強い生徒

「笑顔は、副作用のない薬。」

校 長 野田 博之

本日無事、1学期の終業式を迎えることができました。長引く新型コロナウイルス感染症対策の中でしたが、安全を第一に考えた生活を生徒全員がやり遂げ、予定通りの教育活動を運営することができました。とはいえ、生徒たちは経験したことのないストレスを抱え、生活リズムが乱れそうになる人もいました。そんな窮地も、ご家庭のご支援のおかげで乗り切り、多くの生徒が休まず生活できたことに感謝申し上げます。明日から42日間という長い夏休みが始まります。生徒たちは部活動、学習教室、水泳教室などで登校するものの、多くの時間はご家庭で過ごすことになります。中学生としてワンランクアップした姿をご家庭でお見せしますので楽しみにしてください。

さて、いよいよ2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。そこで今回は、パラリンピックのカヌー日本代表の瀬立（せりゅう）モニカさんの話を紹介します。小さい頃から体を動かすのが好きだったモニカさんは、中学生になると地元のクラブでカヌーを始め、高校入学後は国体出場をめざしていました。その国体の予選の直前のことでした。体育の授業中、逆立ちした後に頭から倒れ込んでしまいました。そして、起き上がろうとしても、体はびくりとも動きませんでした。すぐに救急搬送されると、医者からは脊髄損傷（せきずいそんしょう）と診断され「車いす生活になる」と伝えられました。突然のことで、障害をすぐには受け入れられませんでした。入院中、心配で寄り添ってくれる母親に対して「あっち行って！」と反発することもありました。それでも母親はいつもニコニコしながら話しかけてくれました。「笑顔はね、副作用のない薬なんだよ。」と。

退院後の生活は想像以上に大変でした。駅のエレベーターの前で、車いすのモニカさんを通勤途中の会社員らが急ぎ足で追い越していきました。車いすが場所を取り、電車内でも街中でも嫌な顔をされました。そんなときでも母親の言葉を思い出し、笑顔でいることを心がけました。すると次第に、道をあけてくれる人や、エレベーターに乗るのを手伝ってくれる人が増えました。パラカヌーへの挑戦を後押ししてくれたのも母親でした。おそろおそろカヌーに乗ってみると、水面をすいすいと進んでいく、車いすとは違う爽快感にはまっていきました。

ずっと、母子の2人暮らしでした。水泳やピアノなど、子どものころから「やりたい」と言ったことはすべてやらせてくれました。車いす生活のために自宅をリフォームし、カヌーの練習にも付き合ってくれました。ときに背負いきれなくなりそうだった困難を、それでも乗り越えてこられたのはやはり、母親が居たからだと再認識されています。

もちろんモニカさんを支えたのは母親以外にもコーチ、スタッフ、地元の方々など多くの方々がいらっしゃいました。歩くことや走ることができず、モニカさんは「やれなくなったことは、やっぱり少なくありません」と振り返っていますが、その過程で多くの人と出会い、パラリンピックでの道が開けたことに、「チャンスは誰にでも訪れるものだ。」と思ったそうです。大会は1年延期になりましたが「絶対にあきらめない」「今はやれることをやる」という思いで本番当日に向けて入念な準備を行っています。

コロナ禍の中でのオリパラ開催はまだまだ不安が頭をよぎります。しかしながら長年、小学校、中学校でオリパラ学習を重ねてきた皆さんにとって、瀬立モニカさんのようなアスリートを身近な存在として応援できるでしょう。42日間という長い夏休みの合間に、ここ日本で行われる世界最大級のスポーツの祭典から多くの感動を体感し、喜びの笑顔を分かち合いましょう。そして、この体験から得た新しいエネルギーで、自分の夢の実現や計画に力を注いでほしいです。まだまだ新型コロナウイルス感染症対策という制限下の生活は続きますが日々の生活でも未来を考え、ワクワクする時間を過ごしてください。やり切った満足感に満ちあふれた顔つきで9月の始業式で再会できることを楽しみにしています。

道徳授業地区公開講座

6月12日（土）に道徳授業地区公開講座が行われました。2時間目は各学年で「生命の尊さ」を主題として道徳の授業が行われました。

1学年はペットの死と向き合い、死について考えるための教材である「捨てられた悲しみ」を題材に授業をしました。ペットが捨てられ、何万頭も殺処分されていること、その数を少しでも減らそうという活動をしている人がいること、保護センターでは引き取りも行うことができるようになり、新しい飼い主を見つけようとする努力が行われていることなどについて考えました。（担任：村上）



2学年は「命について考える」を題材に授業をしました。「赤ちゃんポスト」は、育児に行き詰まった親による虐待や育児放棄を防ぐこと、望まない妊娠や出産による中絶や殺人を防ぐために、赤ちゃんを匿名で預けることができる窓口のことであり、日本では平成19年に熊本県の慈恵病院に「このとりのゆりかご」として設置されました。赤ちゃんポストについては、子どもの命を救えるなどと支持する声がある一方、捨て子を助長させるなどの反対意見もあります。「赤ちゃんポスト」について考えることを通して、生命の尊さや向き合い方、社会の在り方などを考えました。（担任：高橋）



3学年は市場原理と道徳観の対立について書かれた書籍「それをお金で買いますか」を使用して、道徳観について多角的な視点で考える力を身につけさせる授業に取り組みました。中学生にとって、自分がここに生きているというありがたみや、他の生命がそれぞれかけがえのない存在であるという感覚を抱く機会は決して多くありません。そのため、「命は大切なものである」という原点に終始するのではなく、生命そのものの捉え方を書籍に例示されている具体的な場面で判断し、その理由について考えました。（担任：小泉）



3時間目は、製菓やたけ代表の大沢力氏をお招きして、ご自身の闘病経験を中心にご講演をいただきました。病気の発覚から治療、リハビリに至る詳細な過程や予後の生活を始め、そのときの心境など、経験した本人ではいけばわからない貴重な話を伺いました。大沢氏が現在取り組んでいる「八丈島からがんをなくす会」についての話など生徒には印象に残った話が多くあったのではないのでしょうか。講演後に生徒はお礼状を兼ねて感想を書いたのですが、全員スペースにびっしりと書き込んでいました。（担当：氏部）



がんになった時の症状や治療法などはテレビなどで少しは知っていたけれど、実際に大沢さんから聞いた内容は想像以上のものでした。何度も繰り返す検査や治療で、苦しい生活が想像できました。しかし大沢さんは諦めずに食生活のリズムを整えたり、ストレッチや筋トレを欠かさず行ったことで自らの健康を大事にすることができたのだなあと思いました。生きようとする力や周りからの支えが、病気を治す上で大切なことがよくわかりました。

生徒の感想より一部抜粋

プール清掃

2年ぶりの水泳指導に向けてプール清掃を6月10日に行いました。

1年生は2時間目にプールサイドと更衣室を中心に、主に地上部分の清掃をしました。周囲の樹木の葉や枝がプールサイドだけでなく、トイレの個室の中まで入り込んでいます。最初はどこから手をつければよいか途方に暮れる状況でしたが、それぞれの分担場所をコツコツと掃除していったために、目につくゴミは粗方取り終えました。



2年生は3時間目にプールサイドの残りとしゃワー、プール槽壁面の担当でしたが、進みが早くプール底面までやれました。

3年生は4時間目にプール底面を中心に総仕上げを行いました。しゃワー付近の足洗い槽、腰洗い槽の隅まで丁寧に掃除し、プール

全体がピカピカになったところでちょうど時間になりました。

清掃が終わりきれいなプールを見ると、水泳指導が始まる実感が沸いてきました。(保健体育科：氏部)



バレー部 遠征



例年ならば夏休みに入ると同時に行われていたバレー部の島嶼大会・都総体ですが、オリンピックの影響で今年は7月に入ってからすぐに行われました。飛行機での移動を予定していたのですが、前日に引き続き航空便は全て欠航。船で11時間の長旅をして上京したのですが、欠航のため出場を諦めた新島中や漁船をチャーターして下田周りで上京した神津中に比べれば条件は良かったと言えきかもしれません。また例年とは違う条件としてコロナウイルス蔓延防止措置期間だったため会場で応援できる保護者は3年生に限定されました。このように今年は異例づくしの大会参加となりました。



八丈合同チームは現在までに島嶼大会4連覇中で、もちろん5連覇を目指して練習してきました。しかし昨年からのコロナ禍で今の代になってから公式戦は一切中止になったため、試合経験が皆無。それでも島のバレー協会を始め八高や島内のバレーチームに協力をさせていただいて練習試合は十分に組んできました。その甲斐あって、島嶼大会では1セットも落とすことなく完全勝利。その勢いで翌日の都総体に臨んだのですが、相手の稲城二中には敗戦し、悲願の都大会1勝は持ち越しとなりました。

会場で

の応援が3年生の保護者に限られてはいましたが、ZOOMを利用して、会場に来られなかった保護者の皆様や学校で応援してくれた先生方の様子を聞いて選手達は心強く感じていました。バレーボールを通して、選手たちが成長し、胸を張って八丈島に帰って来られたことを嬉しく思います。たくさんのご声援、本当にありがとうございました。

(バレー部顧問：氏部)

※島嶼大会の結果

対 小笠原合同 (25-8、25-13)

対 三宅中学校 (25-13、25-6)

対 神津中学校 (25-18、25-21)

※都総合体育大会の結果

対 稲城第二中学校 (9-25、8-25)

～ 水泳教室 ～

夏休みの水泳教室を7/21(水)・7/26(月)～7/30(金)の6日間、実施します。2回以上参加することが宿題となっています。積極的に参加してください。体調不良や上京、その他の理由で2回参加できない場合は、9月に水泳に関するレポートを提出することになっています。夏休みも積極的に運動をして、体力向上を目指しましょう。

～ 学習教室 ～

夏休みの学習教室を7/26(月)～7/30(金)、8/26(月)、8/27(火)の7日間、実施します。時間帯はいずれも8:10～10:00です。8/25(水)はどの学年も登校日となり、宿題の提出・確認を行います。用事のない生徒は原則参加となります。

欠席する場合は、学校までご連絡をお願いします。



学校閉庁日について

今年度、町内小中学校は8月10日(火)～13日(金)の4日間を学校閉庁日とすることが決まりました。原則として、この4日間は学校に待機する職員はおりません。万が一、急用で連絡を取りたい場合は、八丈町教育委員会(2-7071)に連絡をしてください。なお、夜間受付員は通常通りの勤務となりますので、学校施設の一般開放は行われません。



* 7月・8月・9月の主な予定 *

7月 19日(月) 大掃除
20日(火) 終業式
21日(水) 夏季休業日・水泳教室【始】
26日(月) 学習教室【始】
30日(金) 学習教室・水泳教室【終】

8月 25日(水) 登校日
26日(木) 学習教室
27日(金) 学習教室・突破会
31日(火) 夏季休業日【終】

9月 1日(水) 始業式・避難所体験
2日(木) 委員会
3日(金) 運動会練習【始】
5日(日) P連球技大会
6日(月) 生徒会朝礼
8日(水) 選管リハーサル
9日(木) 生徒会役員選挙

12日(日) 校庭整備
13日(月) 学校朝礼
15日(水) 運動会予行・運動会前検診
22日(水) 運動会前日指導・準備
23日(木) 運動会
24日(金) 振替休業日
30日(木) 委員会

事故やトラブルがあった場合は、必ず富士中にも連絡するようお願いします。

警察110番、消防119番、富士中2-0244

学校以外の相談窓口

- ・児童相談所全国共通ダイヤル 189 = 24時間対応
- ・24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310 = 24時間対応

※不安や悩みの相談が受けられます。一人で悩まず相談してみましょう。

